

---

# バカと死神と召喚獣

BLACK

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカと死神と召喚獣

### 【Nコード】

N4456BA

### 【作者名】

BLACK

### 【あらすじ】

文月学園Fクラスになった『残虐の死神』深影凍夜を中心とした物語

オリキャラを原作に織り交ぜます

## プロローグ（前書き）

主要キャラが崩壊するかもしれませんが見てください

## プロローグ

文月学園

おれの名は『深影凍夜』文月学園の生徒だ

俺が文月学園に入学してから二回目の春が訪れた

「この道も見慣れたもんだ。なあ蓮？」

「ああそうだな。それにしても相変わらず桜が綺麗だとおもわないか？凍夜」

こいつは三沢蓮、小学校の時から腐れ縁だ

「そうか？って言うかなんかしやべれよ彰！」

「……………眠い（〇）」

こっちは日山彰、こっちも蓮と同じく小学校からの腐れ縁だ

「相変わらず口数が少ないな。それはいいとしてテストのときはどうだった？」

「まあまあじゃない？」

「……………多分だめ。」

「俺は休んだしな、Fだろうけど」

と話しているうちに校門に差し掛かり一人先生たっていた

「遅いぞ！！おまえたち」

「あつおはようございます鉄人」

「おはよう鉄人先生」

「・・・どうも鉄人」

「誰が鉄人だ！！西村先生と呼べ！」

「・・・どうもすみません（・・・すみません）西村先生」「」

この人は生活指導の鉄人こと西村先生だ

「まあいい。とりあえず受け取れ。クラス分けだ」

「・・・どうも。」「」

まあ俺は解ってるけど

「去年のおまえたちをみてるもしかしてお前たちはバカなんじゃないかと思ったんだが、間違いだったようだ」

「そうですか」

「・・・それで？」

「おまえたちは・・・」「深影凍夜 Fクラス」「三沢蓮 Fクラス」「日山彰 Fクラス」間違いなくばかだ！」

こうして俺たちの最低な学園生活が始まった

## プロローグ（後書き）

こんな感じでやっていきますので、おかしなところがあれば言っ  
てください

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4456ba/>

---

バカと死神と召喚獣

2012年1月11日23時50分発行